

(ほっとかないよ！)

みんなでできる 外来生物対策

ほっとけないと言われても、どうすればいいかわからない人も多いのでは。

イベントへの参加や、活動を知ることから始めてみませんか。

1

ツヤハダゴマダラカミキリを探せ！

親子で虫とり in 六甲アイランド

六甲アイランドの公園の樹木や街路樹に多数生息するツヤハダゴマダラカミキリ。見た目のそっくりなゴマダラカミキリとの見分け方や捕まえ方を昆虫の専門家がレクチャーします。その他の昆虫についても教えてもらえます。親子で昆虫採集を楽しみながら防除にご協力ください。

※カミキリを持って帰ることはできません

対象 小学生以下の児童および保護者
(1組につき児童2名、保護者1名まで)

日時 7月9日(土) 10:00~12:00

(雨天時は7月16日(土))

場所 ファッションプラザ・サン広場集合

料金 無料

募集人数 六甲アイランド在住の市民30組、

その他の市民20組

申し込み 市イベント申込サイトで。6月14日(火)~28日(火)

まで受付。抽選



2

スマホアプリで神戸の生物調査

クエスト「こうべで夏の虫さがし」

撮影した生き物の名前をAIが判定してくれる無料のスマホアプリ「Biome」を使って、昆虫を見つけて投稿するクエスト「こうべで夏の虫さがし」を開催中。虫さがしをすることで、ツヤハダゴマダラカミキリの市内での分布がわかります。他にも神戸の里山などに生息する在来種のカブトムシやクワガタムシなど12種の生息状況も調査中です。虫さがしの冒険に出掛けてみませんか。

日時 6月1日(水)~8月15日(月)



アプリのダウンロード
はこちらから

Biomeには図鑑機能があり、ツヤハダゴマダラカミキリの見分け方も解説。投稿情報はマップ上に示されます。



虫とり・クエストの詳細は [神戸市 生物 イベント](#)

3

助成を活用して楽しい活動に

明石川の生物を保全する 地域の取り組み

市の実施する生物多様性保全活動助成を活用して、外来生物の駆除や在来種保全の取り組みが各地域で行われています。その一つが、西区の明石川を守り育てる活動を行う小中高生のグループ「玉ーアクアリウム」。週に一度は川に入って採集調査を行い、その成果を図鑑にまとめています。絶滅危惧種や在来種は調査後にリリースし、

外来種はその命を無駄にしないよう調理して食べたり、肥料にして駆除しています。外来生物対策も工夫によって楽しい活動になります。



楽しく学びながら
地域の生態系を守ろう

2~4面で[問]の記載がない記事の問い合わせは
市総合コールセンター (☎333-3330 ①333-3314)

久元市長の神戸を想う



市原悦子さんの懐かしい声。在来固有種のインガメに忍び寄る影……外来生物のアライグマです。市内でも足などを無残に食いちぎられたインガメが見つかります。インガメなどの在来種は、日本の里山が平和に暮らしてくれました。獐猛な外来種が居ない環境の中、固有で多様な生態系が育まれ、その中で生きてきました。まんが日本昔話の中で女優の市原悦子さんが優しく語りかけたように、日本人の暮らしは、生き物とともにあり続けられてきました。今、そのような営みが、外来生物によって大きな影響を受け、いくという現実と直視したいと思います。

神戸市長 久元喜造

獐猛=どうもう